



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 アリアケジャパン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2815 URL <http://www.ariakejapan.com>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）田川 智樹  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営管理室 部長（氏名）宮川 明夫（TEL）03(3791)3301  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無  
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23年3月期第1四半期	6,039	20.6	758	32.0	259	△63.7	13	△95.5
22年3月期第1四半期	5,008	△1.3	574	△28.3	713	16.2	305	7.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	0	43	—	—
22年3月期第1四半期	9	61	—	—

#### （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	％	円	銭	
23年3月期第1四半期	51,426		41,148		79.5	1,285	29	
22年3月期	52,561		42,088		79.6	1,314	97	

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 40,909百万円 22年3月期 41,854百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
22年3月期	—		20	00	—		20	00	40	00
23年3月期	—									
23年3月期（予想）			20	00	—		20	00	40	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：有・無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第2四半期（累計）	12,272	15.5	1,756	42.7	1,742	57.8	838	111.4	26	33
通期	27,600	20.6	4,130	42.3	4,100	38.2	2,060	59.2	64	72

（注）当四半期における業績予想の修正有無：有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有・無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	32,808,683株	22年3月期	32,808,683株
23年3月期1Q	979,733株	22年3月期	979,644株
23年3月期1Q	31,829,024株	22年3月期1Q	31,829,332株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しており、本日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、景況感が上向くなど、一部明るい材料もありましたが、失業率は高水準に留まり、デフレ傾向が持続するなど、所得・消費を取り巻く環境は依然として厳しい状況でした。

食品業界におきましても、消費者の低価格志向を背景として価格をめぐる企業間競争が激化し、前年度から引続いて逆風の中の経営を強いられました。

このような状況下、当社グループは世界最大規模の天然調味料メーカーとして、既存事業の拡大と新規事業の積極的な展開を図り、また当社グループ製品の「おいしさ」「健康」「安全」を維持、向上させるとともに、更なる市場展開を推進して収益確保に努めました。

このような諸施策の結果、当第1四半期連結会計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

まず、当社(アリアケジャパン(株))の売上高は、前年度の増販に大きく貢献したトップセールスと、本社におけるR&D機能有効活用が今期も成果を上げて、前年同期比16.2%増(721百万円増)の5,178百万円となりました。

また、連結売上高も、海外子会社の売上が前年同期比で309百万円増加したことから、前年同期比で20.6%増加し(1,031百万円増)6,039百万円となりました。

営業利益に関しては、当社は売上高増に伴う営業利益増加等により、前年同期比25.5%増(206百万円増)の1,017百万円、連結営業利益は前年同期比32.0%増(183百万円増)の758百万円となりました。

次に経常利益は、当社のデリバティブ評価損益が大幅に悪化(前期63百万円の評価益、今期404百万円の評価損)したこともあり、当社の経常利益は前年同期比434百万円減少(46.0%減)し、509百万円となりました。

連結経常利益は主として当社の利益減により、前年同期比454百万円減(63.7%減)の259百万円となりました。

四半期純利益につきましては、当社は290百万円(前年同期比248百万円減)、連結四半期純利益は13百万円(前年同期比292百万円減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,134百万円減少し、51,426百万円となりました。

負債は、主として未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ195百万円減少し、10,278百万円となりました。純資産は前連結会計年度に比べ939百万円減少し、41,148百万円となりました。

#### (連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、税金等調整前四半期純利益が258百万円(前年同期比63.8%減)及び減価償却費等により、当四半期連結会計期間末には資金残高は9,273百万円となり、前連結会計年度末より240百万円減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の増加等により109百万円(前年同期比799百万円減)の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入374百万円及び設備投資を220百万円実施した結果155百万円(前年同期比930百万円増)の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により377百万円(前年同期比183百万円減)の支出となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績については、現時点では平成22年5月13日開示の数値から変更ありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,060,649	14,716,688
受取手形及び売掛金	4,799,618	4,839,007
商品及び製品	1,720,633	1,466,383
仕掛品	523,722	477,646
原材料及び貯蔵品	1,484,027	1,523,951
繰延税金資産	160,229	160,229
その他	352,030	153,733
貸倒引当金	△2,392	△1,747
流動資産合計	23,098,520	23,335,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,910,315	19,618,002
減価償却累計額	△7,491,990	△7,330,835
建物及び構築物(純額)	12,418,325	12,287,166
機械装置及び運搬具	20,083,432	20,105,024
減価償却累計額	△14,012,236	△13,789,819
機械装置及び運搬具(純額)	6,071,195	6,315,205
土地	4,452,371	4,507,186
リース資産	6,100	6,100
減価償却累計額	△338	△84
リース資産(純額)	5,761	6,015
建設仮勘定	693,471	1,099,246
その他	819,697	818,326
減価償却累計額	△719,470	△710,677
その他(純額)	100,226	107,648
有形固定資産合計	23,741,351	24,322,469
無形固定資産		
投資その他の資産	119,316	125,598
投資有価証券	3,082,422	3,265,645
長期貸付金	300,457	388,245
投資不動産(純額)	549,846	551,318
その他	535,024	572,664
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	4,467,664	4,777,787
固定資産合計	28,328,332	29,225,855
資産合計	51,426,852	52,561,748

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393,020	2,293,803
短期借入金	3,839,255	3,654,718
リース債務	987	977
未払法人税等	265,571	1,258,123
賞与引当金	51,344	152,517
役員賞与引当金	—	52,700
その他	2,453,388	1,688,315
流動負債合計	9,003,567	9,101,156
固定負債		
退職給付引当金	571,192	570,552
役員退職慰労引当金	285,582	281,474
リース債務	5,135	5,386
繰延税金負債	102,271	175,488
その他	310,649	339,454
固定負債合計	1,274,832	1,372,356
負債合計	10,278,400	10,473,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	28,439,271	29,062,185
自己株式	△2,058,431	△2,058,368
株主資本合計	41,309,805	41,932,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	525,349	635,334
為替換算調整勘定	△925,803	△713,897
評価・換算差額等合計	△400,453	△78,563
少数株主持分	239,100	234,015
純資産合計	41,148,452	42,088,234
負債純資産合計	51,426,852	52,561,748

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,008,636	6,039,722
売上原価	3,442,664	4,182,986
売上総利益	1,565,972	1,856,735
販売費及び一般管理費	991,368	1,098,168
営業利益	574,604	758,566
営業外収益		
受取利息	12,484	8,108
受取配当金	28,799	30,754
受取家賃	7,597	7,636
有価証券売却益	14,803	—
デリバティブ評価益	63,341	—
その他	67,704	67,358
営業外収益合計	194,730	113,857
営業外費用		
支払利息	6,352	15,776
為替差損	16,603	181,084
デリバティブ評価損	—	404,023
海外新事業費用	13,961	—
その他	18,814	12,448
営業外費用合計	55,731	613,333
経常利益	713,603	259,091
特別損失		
投資有価証券評価損	—	524
特別損失合計	—	524
税金等調整前四半期純利益	713,603	258,566
法人税等	406,353	242,174
少数株主損益調整前四半期純利益	—	16,392
少数株主利益	1,319	2,725
四半期純利益	305,929	13,666

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	713,603	258,566
減価償却費	478,508	459,811
のれん償却額	4,915	4,915
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	564	645
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,190	640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,833	4,108
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△98,270	△101,172
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59,700	△52,700
受取利息及び受取配当金	△41,283	△38,863
支払利息	6,352	15,776
為替差損益 (△は益)	26,208	170,920
有価証券売却損益 (△は益)	△14,803	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	524
売上債権の増減額 (△は増加)	372,578	45,468
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△228,636	△254,508
仕入債務の増減額 (△は減少)	113,309	89,017
その他	△179,343	664,153
小計	1,070,979	1,267,304
利息及び配当金の受取額	41,283	38,863
利息の支払額	△6,352	△15,776
法人税等の支払額	△197,241	△1,181,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	908,669	109,269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	374,760
有価証券の売却による収入	102,273	—
有形固定資産の取得による支出	△404,113	△220,308
投資有価証券の取得による支出	△124,897	—
貸付けによる支出	△350,150	△950
貸付金の回収による収入	1,634	1,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△775,253	155,194
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	39,602	223,852
自己株式の売却による収入	—	126
自己株式の取得による支出	△377	△252
配当金の支払額	△601,141	△601,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△561,916	△377,958
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,741	△127,199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△420,759	△240,694
現金及び現金同等物の期首残高	8,209,823	9,513,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,789,064	9,273,177

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,535,071	473,565	5,008,636	—	5,008,636
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,467	214,279	216,746	(216,746)	—
計	4,537,538	687,844	5,225,383	(216,746)	5,008,636
営業利益(又は営業損失)	837,002	(251,792)	585,210	(10,605)	574,604

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域……米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

当社グループは、天然調味料事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。